

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公開番号】特開 2011-102857 (P2011-102857A)  
【公開日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)  
【年通号数】公開・登録公報 2011-021  
【出願番号】特願 2009-257292 (P2009-257292)  
【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 E

【手続補正書】  
【提出日】平成 24 年 8 月 24 日 (2012.8.24)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】請求項 3  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【請求項 3】

前記連動部材は、前記レンズ駆動部のケースの前記レンズ鏡胴側に設けられた開口からその一部を延出させ前記第 1 のフォーカスリングの外周に設けられた溝部に該一部を嵌入させることにより前記第 1 のフォーカスリングの光軸方向への移動に連動して移動するように構成されたことを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ装置。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 4 2】

虹彩絞り 4 0 は、主としてプラスチック製の地板 5 4 A と、菊座（カム板）5 6 と、地板 5 4 A とカム板 5 6 との間に配置された複数枚の絞り羽根 5 8 とによって構成されている。後固定環 1 8 とマウント取付枠 2 0 との間には、アイリスリング 6 0 が回動可能に配設され、このアイリスリング 6 0 には、カム板 5 6 から延出する連結軸 5 6 A が連結されている。これにより、アイリスリング 6 0 の回動によりカム板 5 6 が回動し、絞り羽根 5 8 が開閉動作するようになっている。